



第19回英国緩和ケア視察研修2018

～包括的緩和ケアシステムを学ぶ～

専門領域に優れた通訳者が日本から同行します！



ペニーブローン・キャンサーケア (ブリストル)



ドロシーハウス・デイケア室 (バース郊外)



聖クリストファー・ホスピス (ロンドン)



ドロシーハウス子どもプレイルーム (バース郊外)



ルイシャム大学病院



キングスカレッジ (Dr Higginsonの特別授業)



ナイチンゲール博物館

※写真提供：阿部まゆみ先生

研修期間：2018年3月18日(日)～3月26日(月) 9日間

訪問都市：イギリス/ブリストル、バース、ロンドン

参加人員：20名(最少催行人員15名)

申込締切：2018年1月15日(月)

旅行代金：499,000円(エコノミークラス、2名1室利用)

※ペニーブローンナショナルセンターに宿泊の際は、1人1室利用。

※旅行代金には研修登録料として10,000円が含まれています。

※旅行代金の他に現地空港税・空港使用料等別途費用がかかります。



★親子サポートの仲間
“バディ”との再会

同行解説：元名古屋大学大学院医学系研究科看護学専攻

特任准教授 阿部まゆみ 先生

研修企画：株式会社 リバティ・インターナショナル 東京都知事登録旅行業第3-3466号日本旅行業協会正会員

<阿部まゆみ先生よりお誘いの言葉>

英国で先駆的な取り組みを展開している施設、ペニーブローン・キャンサーケアを訪ね、心身を癒すブリストルアプローチを学びます。また、今回ブリストル王立子ども病院を初めて訪問し、小児医療と小児緩和ケアの現状についてお話を伺う予定です。また、バース郊外のドロシーハウスでは、広大な地域をカバーする施設と在宅を結ぶ緩和ケアサービス活動と、家族ケアでは子供サポートについて学びます。ロンドンではキングスカレッジを訪ね、緩和ケア研究の第一人者 Dr Higginson 教授による特別授業を受けます。ルイシャム病院では大学病院における多職種連携による緩和ケアチーム活動、地域との連携を学びます。ホスピス発祥の地、聖クリストファー・ホスピスではケアの本質と子ども支援のキャンドルプロジェクト、教育・リサーチ等について学びます。(オプションではナイチンゲール博物館、ナショナル・ギャラリー、ミュージカル etc.)

お問い合わせ ※海外研修パンフレットや国内セミナーなど各種資料送付希望もお待ちしております。

海外研修：リバティ・インターナショナル (#17-008) 担当金子/縄手 国内セミナー：国際教育 (旧国際台療教育研究所) 担当：藤澤
Tel: 03-6386-3865 Fax: 03-6386-3870 Email: info@iet.co.jp Web: <http://www.iet.co.jp>

フリガナ	男	職業/勤務先	TEL
名前	女		FAX
			携帯
フリガナ			
送付先住所 (自宅 勤務先)			
〒			
Eメール	@		

この研修をお知りになったのは? ご紹介

様より)

ODM

広告

弊社HP

講演会

その他

)

日程表(予定)

2017/10/25 現在

	日付	都市名	時刻	交通機関	旅程	食事
1	3月18日 (日)	東京 ヘルシンキ ロンドン ブリストル	11:55 15:20 17:25 18:35 21:30頃	AY074 AY1341 専用車	成田出発 ヘルシンキ到着 ヘルシンキ出発、乗継便にてロンドンへ ロンドン到着、ブリストルへ ペニーブロン宿泊施設に到着、チェックイン ＜ペニーブロンナショナルセンター泊＞	機機 ○
2	3月19日 (月)	ブリストル	終日	-	朝食後視察先へ ○ペニー・ブロン・キャンサーケア視察 がんと共に歩む人々への心身を癒す治療的な新しい アプローチとして知られる“ブリストル アプローチ”を学びます。 ・歴史と施設概要、ブリストル アプローチのコンセプトについて ・PNIとがん患者との関係及びホリスティックケアについて ・補完療法(ヒーリングセラピー・瞑想・栄養・リンパドレナージ など) ・がんサバイバーのお話、施設内見学 など ＜ペニーブロンナショナルセンター泊＞	朝 ○ ○
3	3月20日 (火)	ブリストル	午前 午後	専用車	朝食後チェックアウト、 ○ペニー・ブロン・キャンサーケア視察 ○ブリストル王立子ども病院視察 小児医療と小児緩和ケアの現状について 終了後ブリストルのホテルへ移動 ホテルチェックイン *オプション:ミュージカル鑑賞 ＜ブリストル泊＞	朝 ○ ×
4	3月21日 (水)	ブリストル バース ロンドン	午前 午後	専用車	ホテルチェックアウト後視察先へ ○ドローシー・ハウス ホスピス視察 ・地方都市郊外のホスピスを訪問し、地域における包括的ケア体制について ・ドローシーハウスの医療チームによるレクチャー、マクミランナースの役割、 リンパ浮腫専門ナース、在宅緩和ケア医 他 ・家族ケア、子どものサポートについて ・施設見学 など (13:00 頃迄) ○バース散策後、ロンドンへ移動 ホテルチェックイン ＜ロンドン泊＞	朝 × ×
5	3月22日 (木)	ロンドン	午前 午後	専用車	○キングスカレッジ ホスピタル ・英国で広がる終末期がん患者のためのパス“リバプールパスウェイ” 評価ツールについて ・アイリーン・ヒギンソン博士との交流(予定) ○レイシャム ホスピタル視察 ・地域病院における包括的緩和ケアの取り組みについて ・専門職によるチーム活動の実際について (医師、マクミランナース、ソーシャルワーカー など) *オプション:ミュージカル鑑賞 ＜ロンドン泊＞	朝 × ×
6	3月23日 (金)	ロンドン	終日	専用車	○聖クリストファー ホスピス視察 シシリー・ソンドース先生創設のモダンホスピス運動発祥の地を訪ね各現場 に働く方々との交流・レクチャーを通じて、日々の看護実践のために生かすホ スピスケアの核となるものを学ぶ。 ・ホスピスマインド、スピリチュアケア、子どものグリーフケアなど ・ディケア、緩和ケアリハビリテーション、医師、MSW、スペシャリストナース、 施設見学など ＜ロンドン泊＞	朝 ○ ×
7	3月24日 (土)	ロンドン	午前 午後		ナイチンゲール ミュージアム見学 自由視察 ＜ロンドン泊＞	朝 × ×
8	3月25日 (日)	ロンドン	07:00 10:20 15:15 16:45	専用車 AY1332 AY071	ホテルチェックアウト後、空港へ向け出発 ロンドン出発、帰国の途へ ヘルシンキ到着 ヘルシンキ出発 ＜機中泊＞	朝 機機
9	3月26日 (月)	東京	08:05		東京到着後、解散	×

※利用予定航空会社:フィンランド航空(AY)など

※宿泊予定ホテル:ブリストル/Penny Brohn National Centre、Radisson Blu Hotel など、ロンドン/Copthorne Tara Hotel など

※時間の目安:早朝 4:00~6:00/午前 6:00~12:00/午後 12:00~18:00/夜 18:00~23:00

※航空会社や訪問先の都合などにより、スケジュールに変更が生じる場合があります。